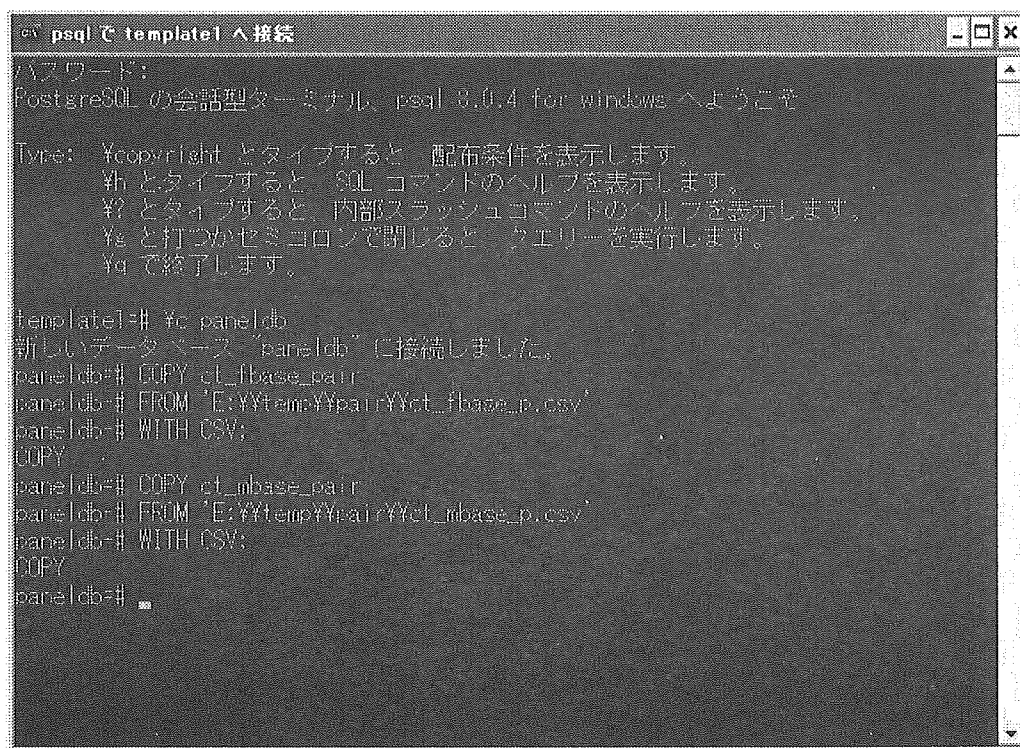


CSV ファイル取り込みコマンドを入力し実行します。



```
psql ㉿ template1 へ接続
パスワード:
PostgreSQL の会話型ターミナル、psql 3.0.4 for windows へようこそ

Type: ㉿copyright とタイプすると、配布条件を表示します。
㉿h とタイプすると、SQL コマンドのヘルプを表示します。
㉿? とタイプすると、内部スラッシュコマンドのヘルプを表示します。
㉿g と打つかセミコロンで閉じるとクエリーを実行します。
㉿q で終了します。

template1# ㉿c paneldb
新しいデータベース 'paneldb' に接続しました。
paneldb# ㉿COPY ct_fbase_parr
paneldb# ㉿FROM 'E:㉿temp㉿parr㉿ct_fbase_p.csv'
paneldb# ㉿WITH CSV;
COPY
paneldb# ㉿COPY ct_lbase_parr
paneldb# ㉿FROM 'E:㉿temp㉿parr㉿ct_lbase_p.csv'
paneldb# ㉿WITH CSV;
COPY
paneldb#
```

● 図 4-1-4 「psql」画面 データ取り込み実行

取り込みコマンドの書式 : COPY [テーブル名]

FROM [取り込みファイル名 (絶対パス)]

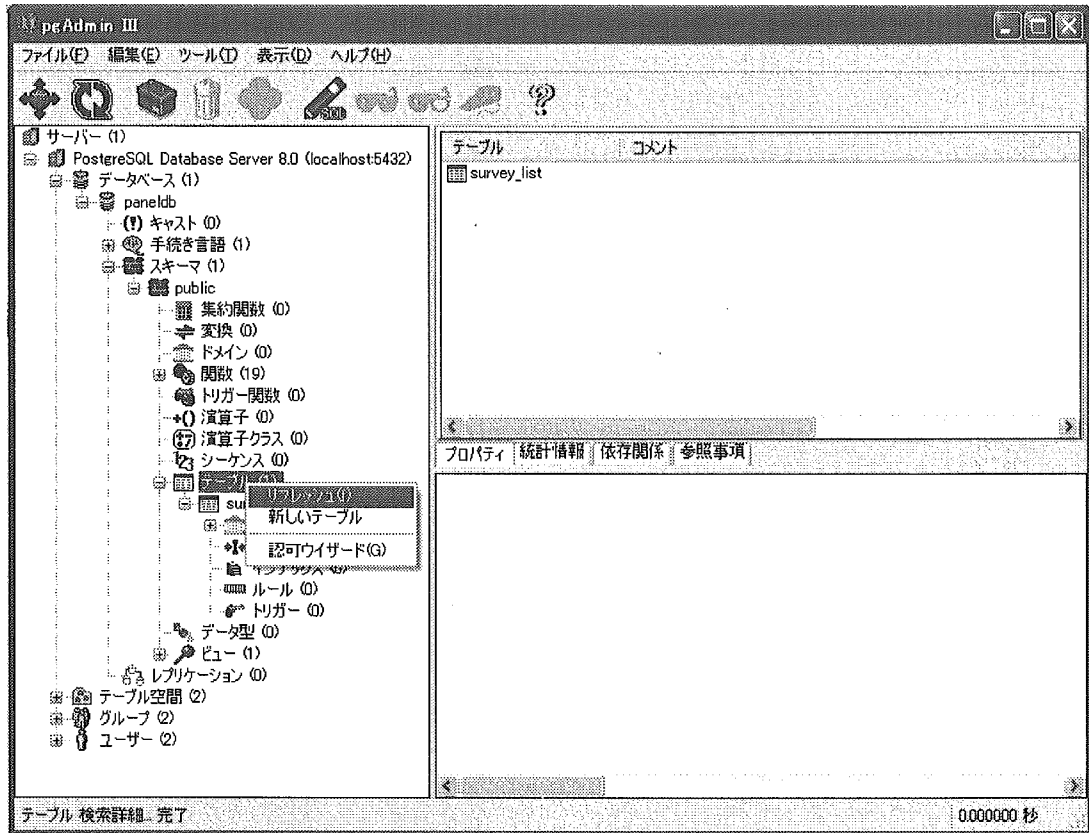
WITH CSV ;

※取り込みファイル名のパスの区切り文字は“㉿”で記述してください。

※最後に“;” (セミコロン) を記述してください。セミコロンまでは[Enter]で複数行にわたって記述しても構いません。

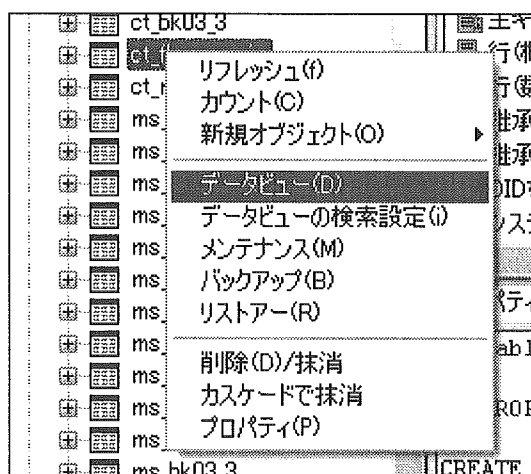
5. 取り込み結果の確認

「pgAdminIII」メインウィンドウで「テーブル」を選び、右クリックして「リフレッシュ」を選びます。



● 図5-1-1 「pgAdminIII」メインウィンドウ テーブル情報リフレッシュ

確認したいテーブルを選び、右クリックして「データビュー」を選びます。



● 図5-1-2 テーブル メニュー

以下のようなデータ編集ウィンドウが表示されますので取り込まれた内容を確認します。

	oid	af001 varchar	setai_key varchar	af006_1 varchar	surveyid_1 varchar	af006_2 varchar	surveyid_2 varchar
1	41184	1	1001106061				
2	41185	1	1001106071				
3	41186	1	1001107051				
4	41187	1	1001107102	1	AM01	1	AM02
5	41188	1	1001107122	1	AM01		
6	41189	1	1001108061				
7	41190	1	1001108071	2	ASM01	2	ASM02
8	41191	1	1001108092	1	AM01	1	AM02
9	41192	1	1001306041				
10	41193	1	1001306062				
11	41194	1	1001306071				
12	41195	1	1001306082				
13	41196	1	1001406042	1	AM01	1	AM02
14	41197	1	1001406051				
15	41198	1	1001406052				
16	41199	1	1001406061				
17	41200	1	1001407041				
18	41201	1	1001407071				
19	41202	1	1001408041				
20	41203	1	1001408052				
21	41204	1	1001408061				
22	41205	1	1001408071				
23	41206	1	1001408082	1	AM01	1	AM02
24	41207	1	1002207072	1	AM01	1	AM02
25	41208	1	1002207061				
26	41209	1	1002207072	1	AM01	1	AM02

● 図 5-1-3 「pgAdminIII」データ編集ウィンドウ

パネル調査データベース データ抽出マニュアル

目 次

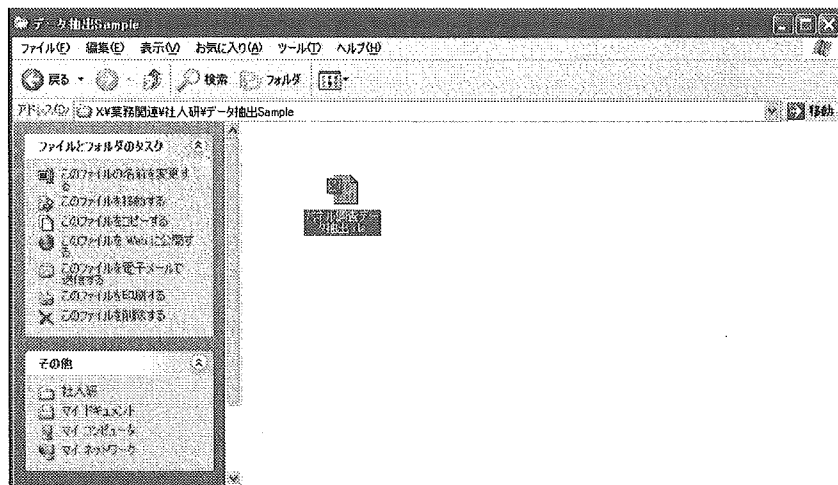
0. はじめに	1
1. パネル調査データ抽出ツールの起動	1
2. 抽出条件の入力	2
3. 抽出SQL文の作成	3
4. 抽出SQL文の実行	4
5. 変換記述表の作成	7
6. データ抽出の終了	8

0. はじめに

この操作マニュアル資料はパネル調査データベースのデータ抽出手順について説明しています。以降は出生児調査を例にデータ抽出の手順を説明します。

1. パネル調査データ抽出ツールの起動

任意のフォルダにデータ抽出ツールのファイルがあることを確認します。



● 図 1-1 実行フォルダ内のファイル

パネル調査データ抽出ツールをダブルクリックします。

2. 抽出条件の入力

パネル調査データ抽出ツールが起動したら抽出条件を指定します。

- (1) 抽出条件指定画面（[抽出条件指定] シート）で抽出する調査票番号（A列）・変数名（B列）を入力します。
- (2) 抽出条件として調査票番号（D列）・変数名（E列）・条件式（F列）・値（G列）を入力します。

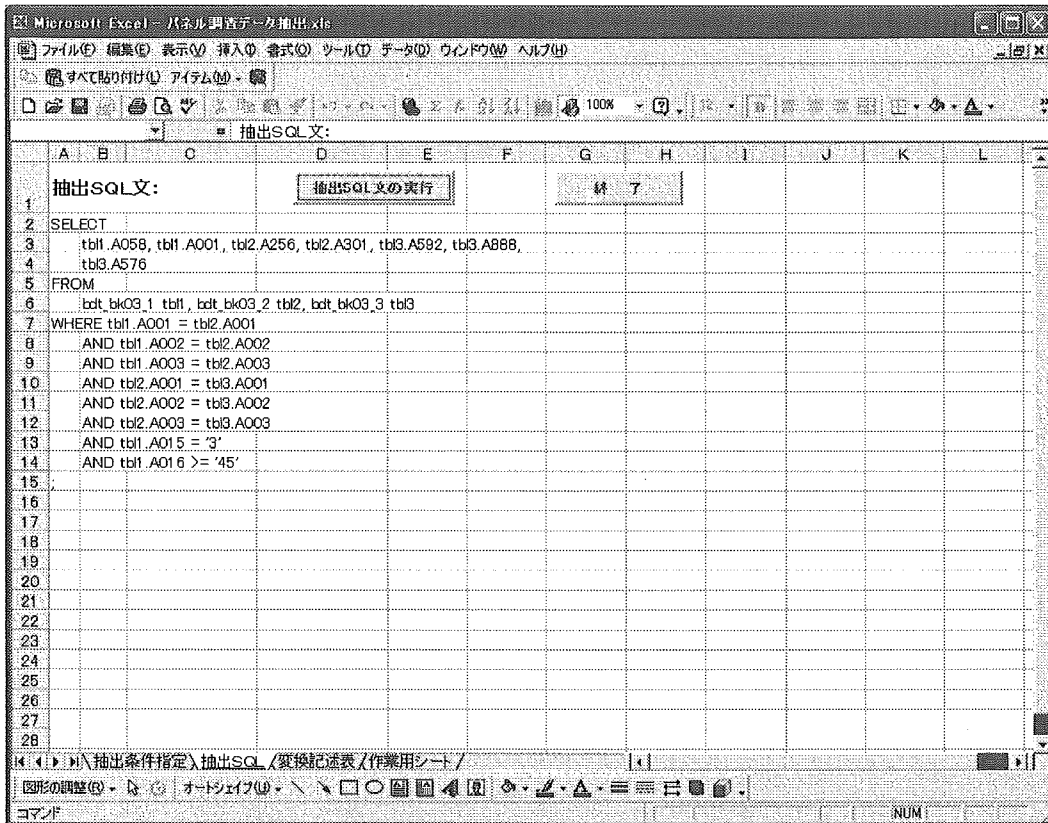
抽出項目		抽出条件			
調査票番号	変数名	調査票番号	変数名	条件	値
bk03_1	A059	bk03_1	A015	=	3
bk03_1	A001	bk03_1	A016	>=	45
bk03_2	A256				
bk03_2	A301				
bk03_3	A692				
bk03_3	A888				
bk03_3	A576				
bk03_1	A038				

● 図 2 - 1 抽出条件指定画面

3. 抽出SQL文の作成

次に指定した条件で抽出SQL文を作成します。

- (1) 抽出条件指定画面で「抽出SQL作成」ボタンをクリックします。
- (2) 抽出SQL表示画面（[抽出SQL]シート）に抽出SQL文が出力されます。

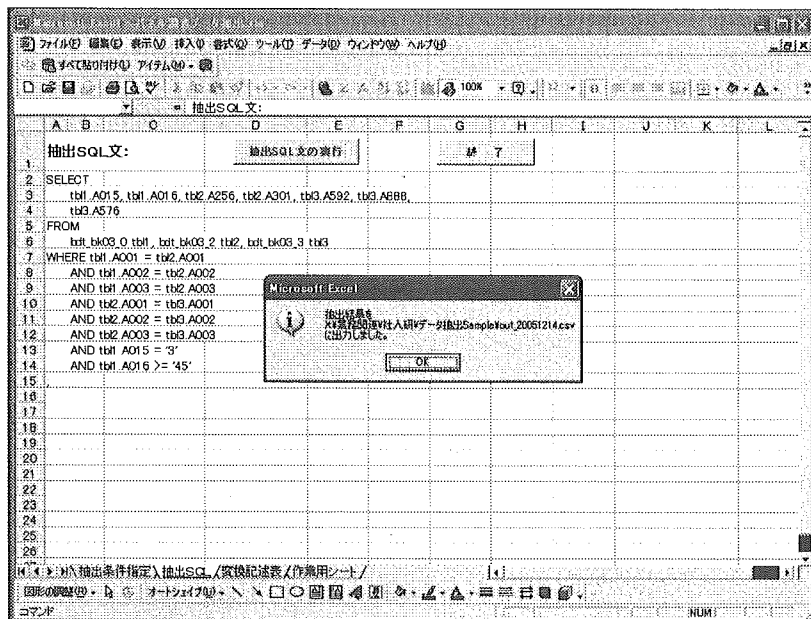


● 図3-1 抽出SQL表示画面

4. 抽出SQL文の実行

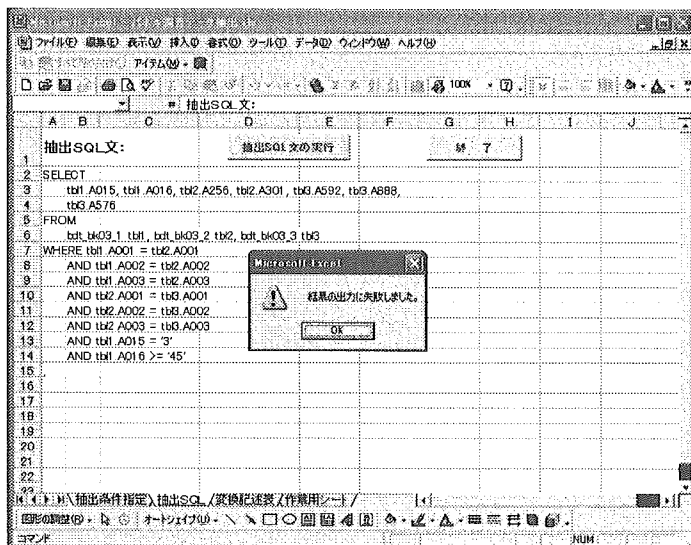
作成された抽出SQL文を実行します。

- (1) 抽出SQL表示画面で「抽出SQL文の実行」ボタンをクリックします。
- (2) 抽出SQL文を実行し、抽出結果をCSVファイルに出力します。
- (3) 正常に出力された場合、以下のような出力ファイル名を表示したダイアログが表示されます。



● 図4-1 抽出SQL文実行結果（正常に出力された場合）

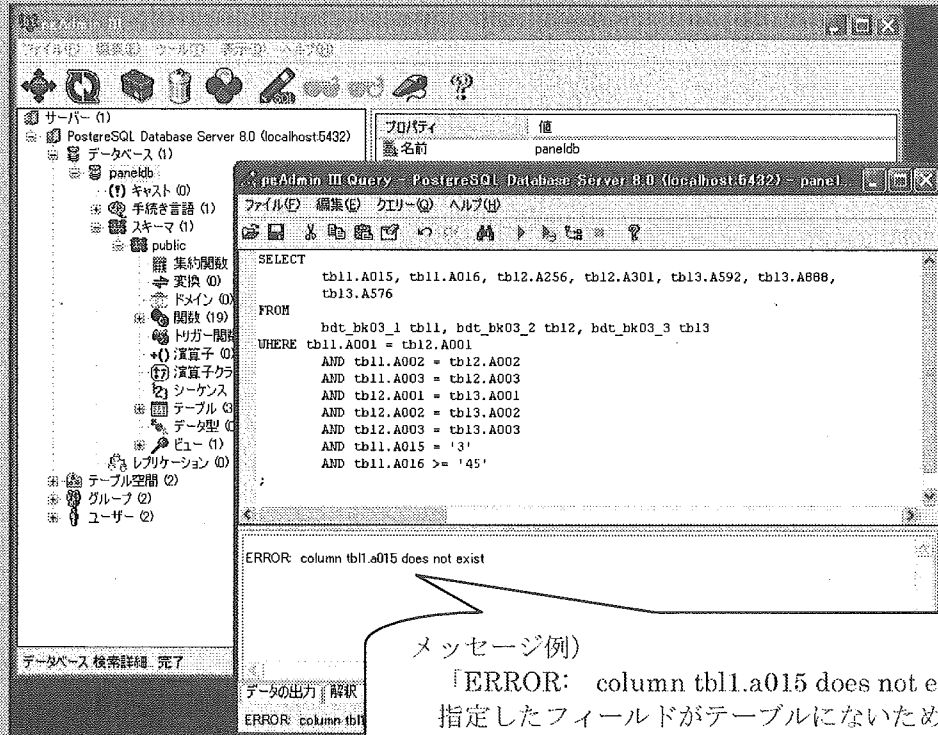
- (4) 出力に失敗した場合、以下のような警告ダイアログが表示されます。



● 図4-2 抽出SQL文実行結果（失敗した場合）

●失敗原因の確認方法

出力に失敗した原因は、PostgreSQLのクライアントツール「pgAdminIII」を使って確認することができます。



● 図4-3 「pgAdminIII」クエリー実行画面

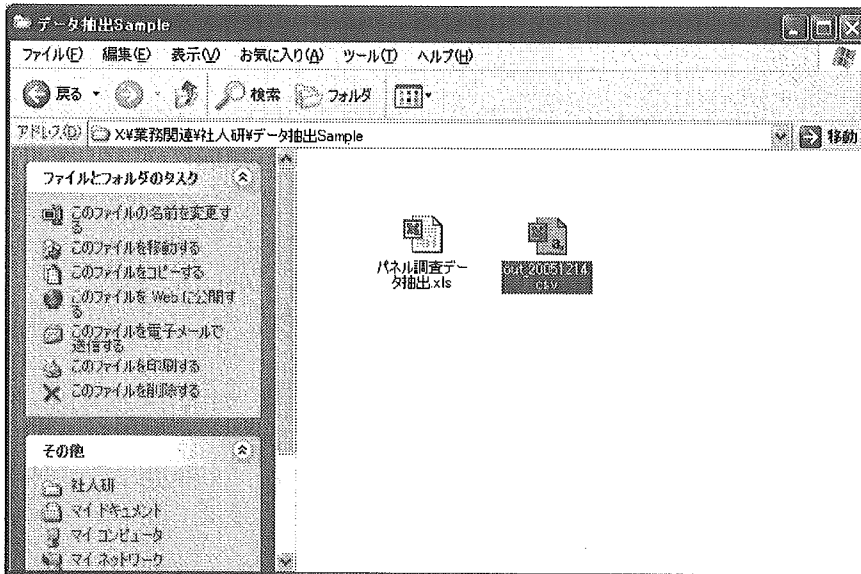
出力に失敗する場合、データベースへの問い合わせが不適切な場合が考えられます。抽出項目の指定に誤りがないかご確認ください。

- ・ 調査票番号・変数名の入力に誤りはないでしょうか？
- ・ 条件式の入力は適切でしょうか？

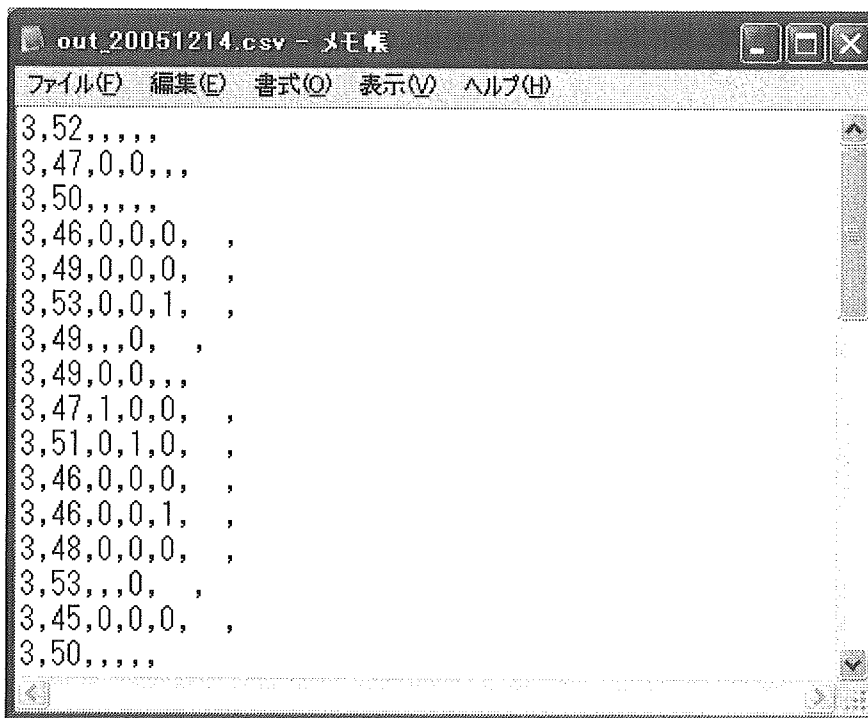
(5) 正常に結果が出力された場合、抽出ツール実行フォルダ内に CSV ファイルが出力されます。

出力ファイル名 : 「out_ (日付 YYYYMMDD) .csv」

例) 2005 年 12 月 16 日の場合「out_20051216.csv」となります。



● 図 4-4 実行フォルダ内のファイル (抽出実行後)



● 図 4-5 出力された CSV ファイル

5. 変換記述表の作成

抽出結果が出力された後、指定した抽出条件で変換記述表が作成されます。

作成された変換記述表は変換記述表画面（[変換記述表] シート）に表示されます。

項目名	位置	幅	コード	コードの内容	変換情報
父の出生年月日(元書)	29	1	3	昭和\$輸出でない子のとき	c
			\$	昭和\$輸出でない子のとき	
父の出生年月日(年)	30	2	05-58	05-58年\$輸出でない子のとき	c
			\$	05-58年\$輸出でない子のとき	
同居の状況(父の父親)	25	1	0-1		c
相手(一人遊びが多い)	72	1	0-1		c
内容(食が細い)	54	1	0-1		c
			\$	きょうだいなし・第9回調査に非協力	
			1-9	1人~9人	
			9	人数不詳	

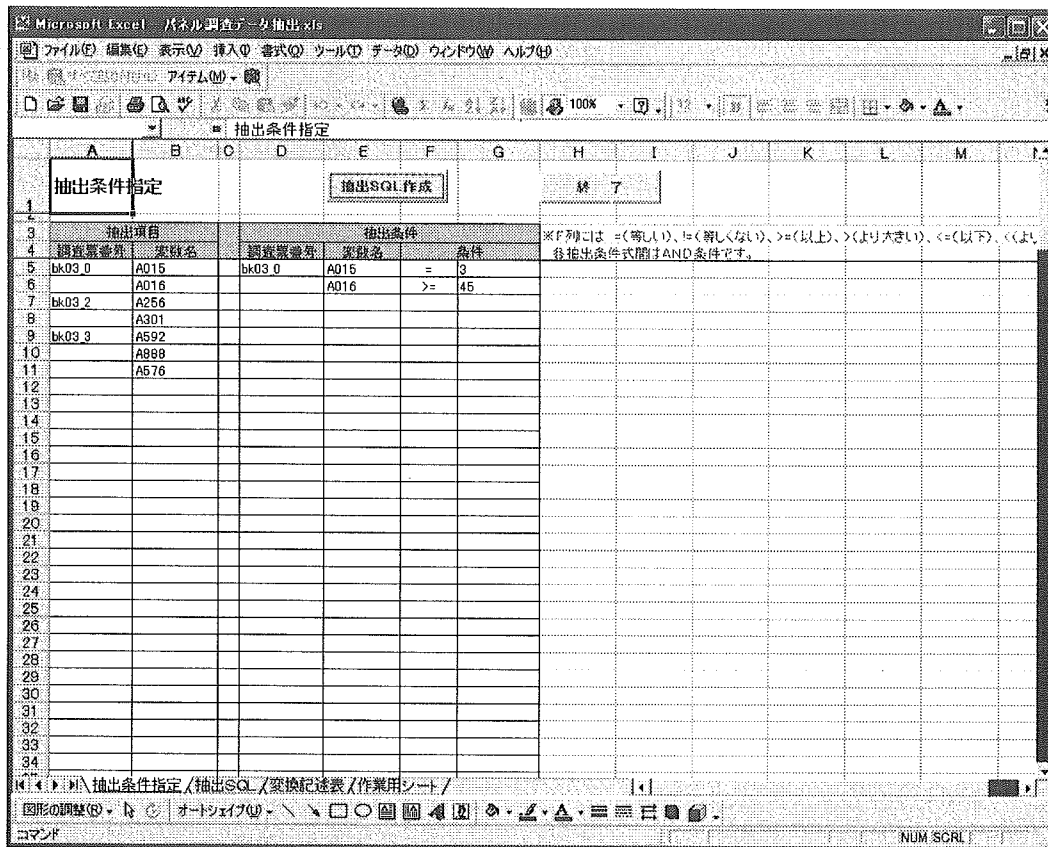
● 図5-1 変換記述表画面

6. データ抽出の終了

データ抽出を終了するには「抽出条件指定画面」あるいは「抽出SQL表示画面」で[終了]ボタンをクリックします。

開いている Excel ファイルは保存されないで終了します。

保存して終了すると VBA マクロの動作が不安定になる場合があります。必ず [終了] ボタンで終了させてください。



● 図6-1 抽出条件指定画面

パネル調査データベース データ抽出マニュアル (夫婦編)

目 次

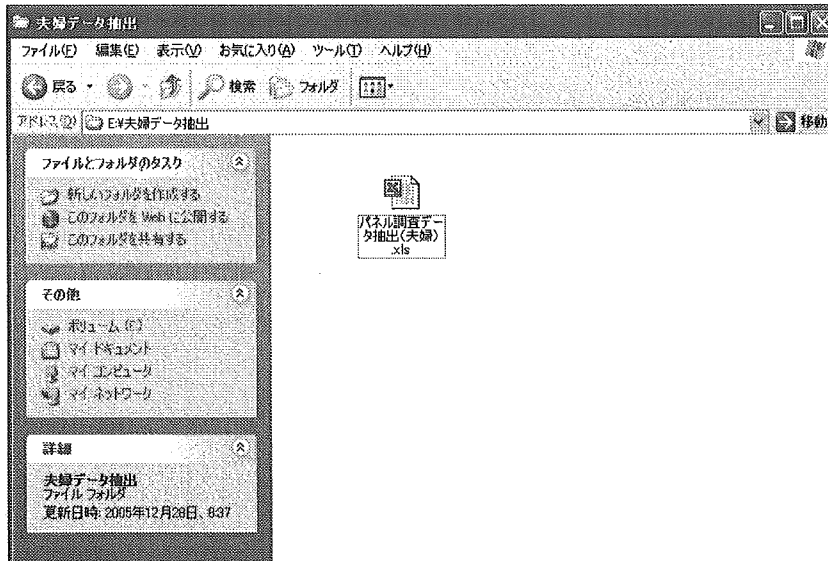
0. はじめに	1
1. パネル調査データ抽出ツールの起動	1
2. 抽出条件の入力	2
3. データ抽出の実行	3
4. 抽出結果の確認	8
5. 変換記述表の作成	9
6. データ抽出の終了	10

0. はじめに

この操作マニュアル資料はパネル調査データベースのデータ抽出手順（夫婦編）について説明しています。女性票ベースを例にデータ抽出の手順を説明します。

1. パネル調査データ抽出ツールの起動

任意のフォルダにデータ抽出ツールのファイルがあることを確認します。



● 図 1-1 実行フォルダ内のファイル

パネル調査データ抽出ツールをダブルクリックします。

2. 抽出条件の入力

パネル調査データ抽出ツールが起動したら抽出条件を指定します。

(1) 抽出条件指定画面（[抽出条件指定（女性票ベース）] シート）で抽出条件を入力します。

※男性票をベースに抽出を行なう場合、[抽出条件指定（男性票ベース）] シートに入力します。

(2) 抽出条件としてベースとなる調査票の調査票番号（A列）・変数名（B列）および夫婦の対象となる調査票の調査票番号（C列）・変数名（D列）を入力します。

例) 女性票をベースにする場合、夫婦対象となる調査票は男性票・配偶者男性票です。

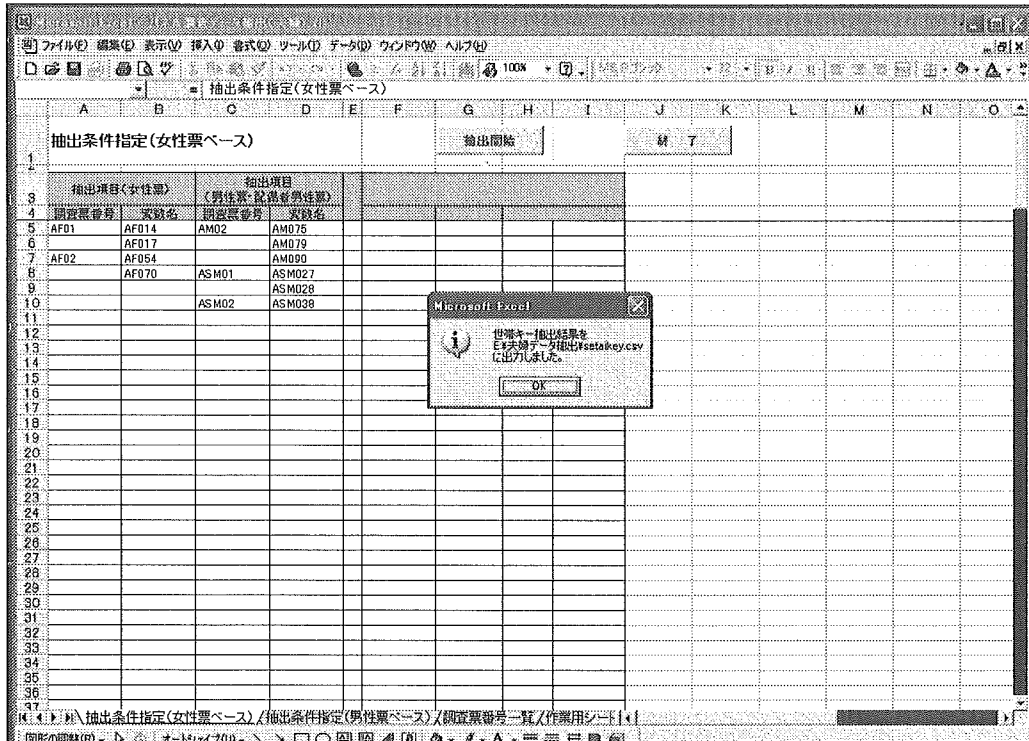
抽出項目(女性票)	抽出項目(男性票・配偶者男性票)		
調査票番号	変数名	調査票番号	変数名
AF01	AF014	AM02	AM075
	AF017		AM079
AF02	AF054		AM090
	AF070	ASM01	ASM027
			ASM028
		ASM02	ASM038

● 図2-1 抽出条件指定画面

3. データ抽出の実行

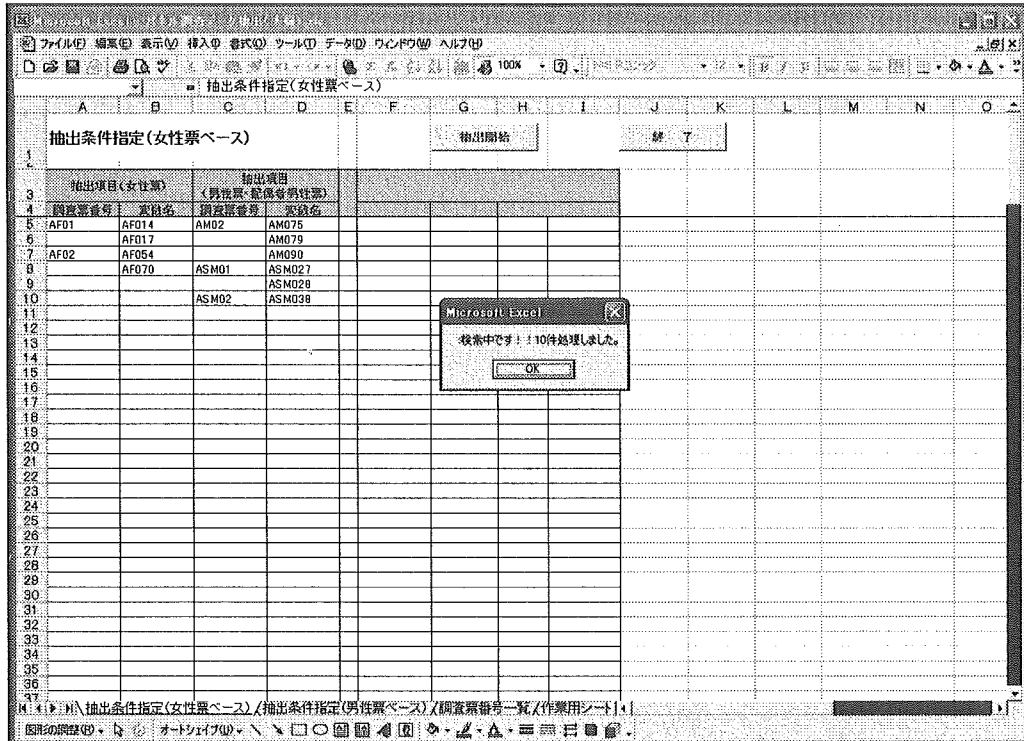
次に指定した条件でデータ抽出を実行します。

- (1) 抽出条件指定画面で「抽出開始」ボタンをクリックします。
- (2) 世帯キー抽出結果確認画面が表示されますので「OK」ボタンをクリックします。



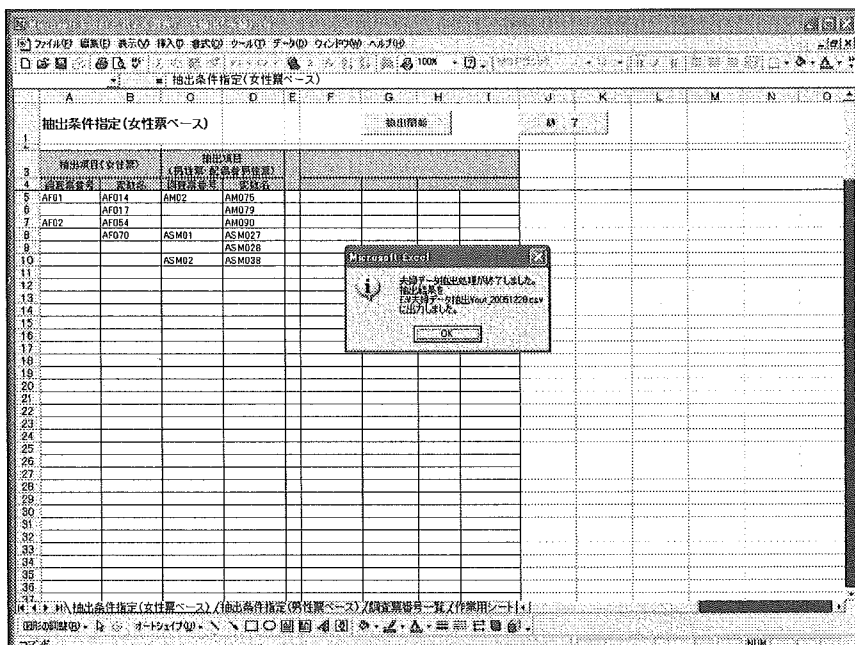
● 図3-1 世帯キー抽出結果確認画面

(3) 抽出経過を確認する画面が表示されますので「OK」ボタンをクリックし処理を続けます。



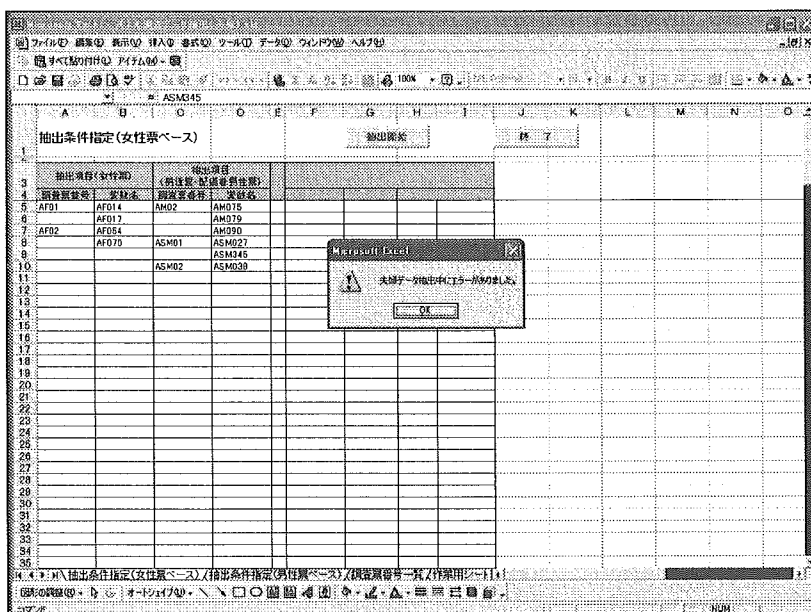
● 図3-2 抽出経過確認画面

(4) 正常に抽出処理が終了した場合、以下のような出力ファイル名を表示したダイアログが表示されます。



● 図 3-3 抽出処理終了確認画面 (正常に終了した場合)

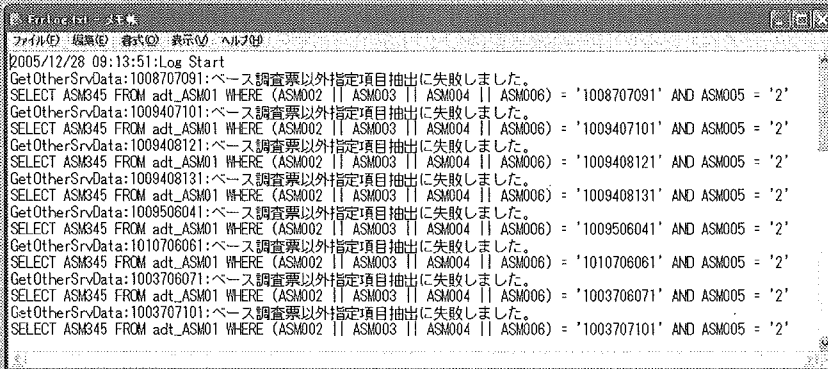
(5) 抽出処理が失敗した場合、以下のような警告ダイアログが表示されます。



● 図 3-4 抽出処理終了確認画面 (失敗した場合)

● 失敗原因の確認方法

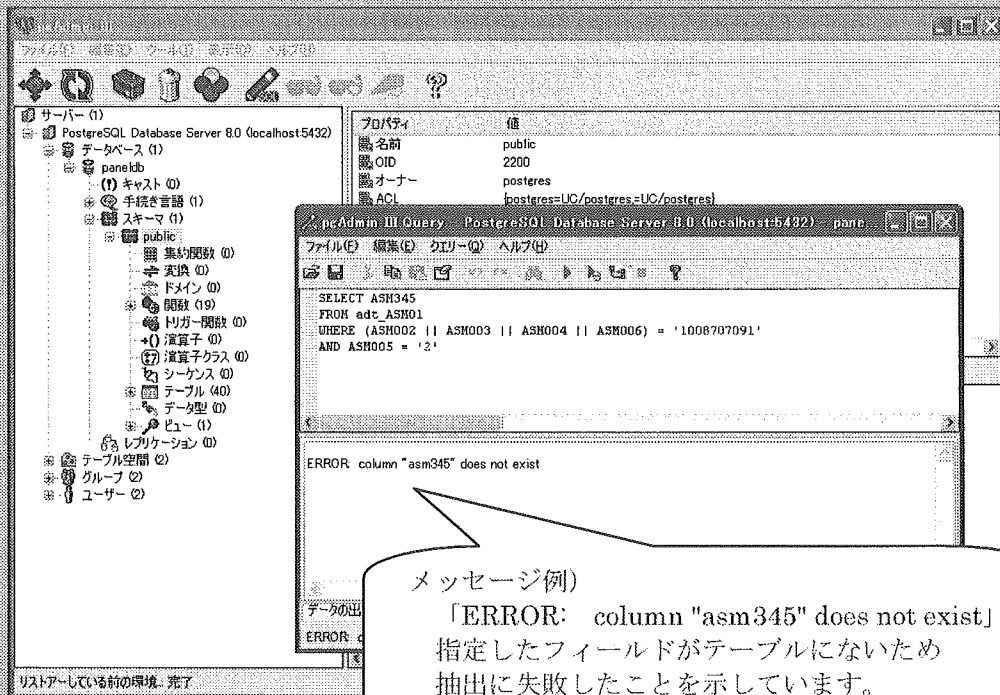
エラーログファイル (ErrLog.txt) でエラー内容を確認します。
エラーログファイルは実行フォルダ配下に出力されています。



```
2005/12/28 09:13:51:Log Start
GetOtherSrvData:1008707091:ベース調査票以外指定項目抽出に失敗しました。
SELECT ASH345 FROM adt_ASM01 WHERE (ASH002 || ASH003 || ASH004 || ASH006) = '1008707091' AND ASH005 = '2'
GetOtherSrvData:1009407101:ベース調査票以外指定項目抽出に失敗しました。
SELECT ASH345 FROM adt_ASM01 WHERE (ASH002 || ASH003 || ASH004 || ASH006) = '1009407101' AND ASH005 = '2'
GetOtherSrvData:1009408121:ベース調査票以外指定項目抽出に失敗しました。
SELECT ASH345 FROM adt_ASM01 WHERE (ASH002 || ASH003 || ASH004 || ASH006) = '1009408121' AND ASH005 = '2'
GetOtherSrvData:1009408131:ベース調査票以外指定項目抽出に失敗しました。
SELECT ASH345 FROM adt_ASM01 WHERE (ASH002 || ASH003 || ASH004 || ASH006) = '1009408131' AND ASH005 = '2'
GetOtherSrvData:1009506041:ベース調査票以外指定項目抽出に失敗しました。
SELECT ASH345 FROM adt_ASM01 WHERE (ASH002 || ASH003 || ASH004 || ASH006) = '1009506041' AND ASH005 = '2'
GetOtherSrvData:1010706061:ベース調査票以外指定項目抽出に失敗しました。
SELECT ASH345 FROM adt_ASM01 WHERE (ASH002 || ASH003 || ASH004 || ASH006) = '1010706061' AND ASH005 = '2'
GetOtherSrvData:1003706071:ベース調査票以外指定項目抽出に失敗しました。
SELECT ASH345 FROM adt_ASM01 WHERE (ASH002 || ASH003 || ASH004 || ASH006) = '1003706071' AND ASH005 = '2'
GetOtherSrvData:1003707101:ベース調査票以外指定項目抽出に失敗しました。
SELECT ASH345 FROM adt_ASM01 WHERE (ASH002 || ASH003 || ASH004 || ASH006) = '1003707101' AND ASH005 = '2'
```

● 図3-5 エラーログファイル

出力に失敗した原因は、PostgreSQLのクライアントツール「pgAdmin III」を使って確認することができます。エラーになったSELECT文 (SELECTで始まる行) をSQLクエリー実行画面にコピー&ペーストし実行します。



● 図3-6 「pgAdmin III」クエリー実行画面

出力に失敗する場合、データベースへの問い合わせが不適切な場合が考えられます。
抽出項目の指定に誤りがないかご確認ください。

- ・ 調査票番号・変数名の入力に誤りはないでしょうか？
- ・ 条件式の入力は適切でしょうか？